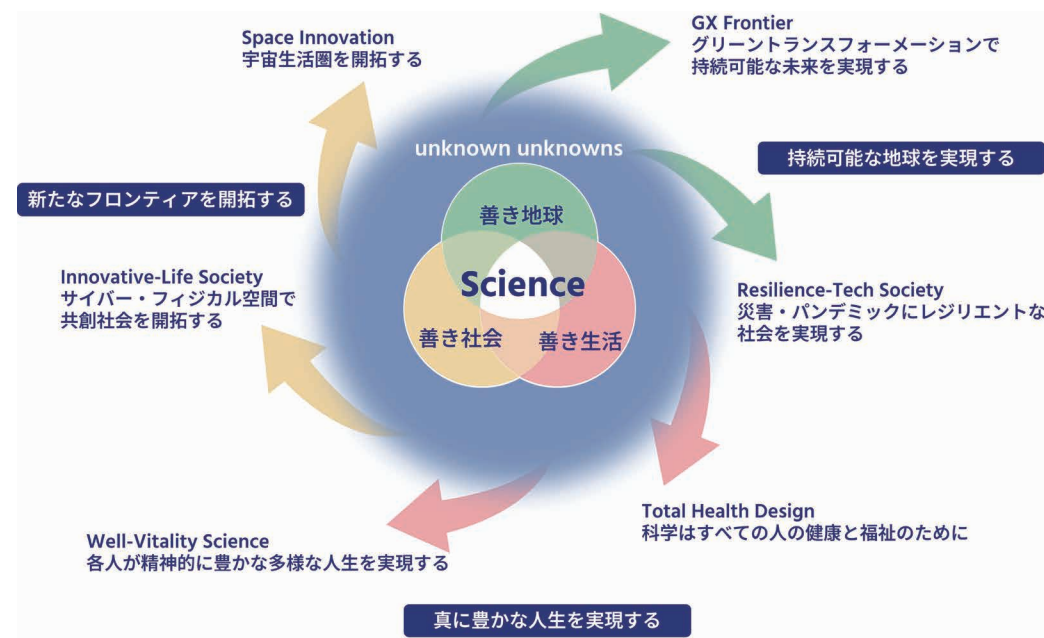




ちなみに東京科学大学では、目指す社会変革の姿を、3つのビジョンとして定めています。「善き生活…

真に豊かな人生を実現する」「善き社会…新たなフロンティアを開拓する」「善き地球…持続可能な地球を



立志プロジェクト



湯島キャンパス（左）と大岡山キャンパス（右）

実現する」の3つですが、その実現を目指す研究体制「ビジョナリーニシアティブ（V-I）」を、今年4月から全学に導入しました。医学、歯学、理学、工学、情報学、リベラルアーツなど分野別縦割りの研究体制を、横断型へと大きく変革する仕組みです。

教育や学生生活も融合により好循環

キャンパスでの学生生活や教育面でも融合が進んでいます。毎週月曜日には、学士課程の新生全員が大岡山キャンパスに集う「大岡山Day」があり、ここで必修科目「立志プロジェクト」などを学びます。立志プロジェクトは、医歯学系と理工学系学生の共修授業で、クラス内の少人数ディスカッションとオンデマンド講義が特徴です。様々なテーマについて異なる立場や視点から対話を重ねます。

「授業を参観しましたが、学生のディスカッションを聞いてみると、1回目はどの学生が医歯学系で、どの学生が理工学系に分かるのです。ところが、5、6回目になると、誰が理工学系で誰が医歯学系に分からなくなりました。お互いに見解は違うけれど議論ができる。人ということを意識する医歯学系と、科学ということを意識する理工学系が交わる



ことによつて、学生の視点が大きく広がった、と実感しました」と田中雄二郎学長。

また、クラブ活動にも好循環をもたらしています。例えば、医学科の学生が子どもをケアするために作ったチャイルドケアクラブ。そこに理工学系の学生が入り、寝たきりの子どもがドローンのコントローラーを操作して外の景色を見ることができるような試みを行っています。医歯学系の学生では発想できないことであり、理工学系の学生にとつても、ドローンにこんな利用法があるというのはこれまで考えつかなかったことだといいます。

田中雄二郎学長は、最後に「レッドオーシャン（激戦市場、飽和市場）ではなく、未開拓のブルーオーシャンが目の前に開けています。そこで自分の興味を見出し、研究し新しい価値を創造していく。社会から喜ばれるし、とても楽しいことではないでしょうか。それがこの大学なのです」と結んでくれました。



東京科学大学 田中雄二郎学長

1980年、東京医科歯科大学医学部医学科卒業。1985年、同大学大学院医学研究科博士課程修了。1986年、米国マウントサイナイ大学附属アルコール研究治療センターリサーチフェロー。東京医科歯科大学医学部附属病院総合診療部教授、同大学医学部附属病院院長、理事・副学長などを経て、2020年同大学長。2024年10月より現職。専門分野は、消化器内科学、医学教育学。国立大学医学部付属病院長会議EPOC運営委員会委員長、日本医学教育学会編集委員会委員などを歴任。

1+1V2と捉え未知なる課題の解決へ

東京科学大学は、未来を切り拓くために4つのビジョンを掲げています。1つ目は、母体となった2つの大学、東京医科歯科大学と東京工業大学の尖った研究、例えば創生医学や口腔科学、希少疾患・難病、統合エネルギー科学、新・元素戦略、デジタル社会・デバイスシステムなど、従来の先端的な研究をさらに発展させること。2つ目は、部局などを超えてコンバージェンスサイエンス（科学的集合知）を展開すること。互いに異なる専門領域を持つ大学だからこそ生まれるシナジー効果を生かし、総合知に基づいた科学の進歩と未知なる課題の解決に挑みます。

3つ目は、教養教育と専門教育を連携させ、基礎的な研究から社会実装まで扱うことができる高度専門人材を育成すること。4つ目は、国籍・性別・人種・障害の有無などあらゆる差異を超えて、すべての構成員が自らの活動に取り組むことができる多様性、包摂性、公平性を持つ環境と文化をつくり出すことです。

田中雄二郎学長は、「2つの大学が統合したことで、科学の真理を探究するとともに、人々の幸せを探究することができるようになりました。それが社会とともに新たな価値を創造することにつながっていくのです。これからの大学は、社会のためにあるということを強く意識する必要があります。大学は象牙の塔ではありません。より積極的に社会とかわっていくべきだというのが本学のスタンスです」と語ります。

「1+1=2」という単なる加算ではなく、「1+1V2」と捉え、統合によりこれまでにない新しい学問領域を生み出すことで、社会課題を解決していくというのです。

異分野融合研究を支援する「共同研究マッチングファンド」が既に稼働しており、例えば材料工学と難治疾患研究、情報工学と軟骨再生学、人間工学と整形外科、情報工学と精神行動医科学、原子力工学と放射線医学などの研究が進んでいます。また、ダイナミックな医工連携を実現させるため、「総合研究院」「未来社会創成研究院」「新産業創成研究院」「国際医工共創研究院」を開設しました。

あらゆる知と技術を融合させ
医歯学と理工学の可能性を切り拓く